

R7 農事メモ(第2号)

令和7年4月11日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

白山石川グレードアップ米づくり運動 ～推進技術(田植え)をチェックしよう～

- チェック ☐ 植え付け : 1株あたり3～4本、3cm程度の浅植え
- チェック ☐ 栽植密度 : 1坪あたり60株以上(晩植は70株)で適正茎数の確保
- チェック ☐ 施肥 : 適正な施肥量
- チェック ☐ 田植時期 : 5月田植えで過剰生育の防止(コシヒカリ)
- チェック ☐ 活着後の浅水管理 : 水深2～3cmの浅水で、早期に分げつを確保
- チェック ☐ 除草 : 4月下旬までに一斉除草

● 6つの一ヶ月対策実証ほを設置します！

6つの一ヶ月対策とは、
生育期間中の水管理を中心とした6つの管理対策です！

- [1]育苗日数は、1か月以内(20～25日間)
- [2]中干し開始は、田植え1か月後
- [3]中干し期間は、1か月間(コシヒカリ)
- [4]中干し後から出穂までは、約1か月間(コシヒカリ)の飽水管理
- [5]出穂から刈取り直前までの1か月以上は、

① 乾かさない・②ずっと溜めない・③すぐ落とさない

- [6]刈取後1か月以内を目安に土づくり(秋起こし)

<設置場所>

JA支店	集落名	詳細
中央	倉光	白山市役所前
北星	相川	御手洗コミュニティセンターそば
西南	上柏野	オーティ・マッソーさまそば
松南	剣崎	剣崎北信号そば

赤いのぼりが
目印です



・農機具等の点検・整備を行い、
農作業安全に努めましょう！

・農作業後に公道に出る際は
できるだけ泥を落としましょう！

1 育苗後期の管理 ～活着のよいガッチリ苗に仕上げよう～

ハウス内の温度に注意し、晴れる日は早朝から換気しましょう。

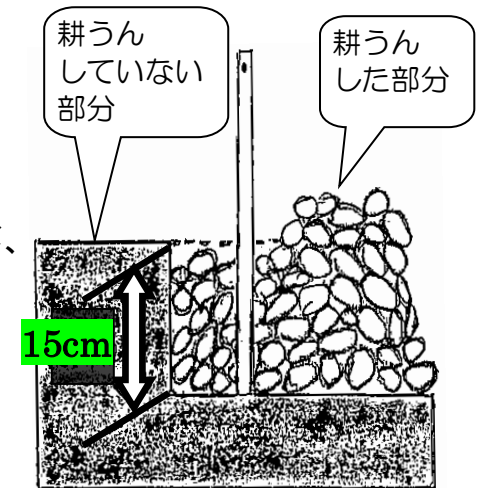
- (1) ムレ苗・徒長苗防止のため、ハウス内温度を昼間は25℃以下とし、
田植え5～3日前から極端な低温時以外は夜間もハウスを開けて外気にならず(霜には注意)。
- (2) 晴天時は床土が乾きやすいので、様子を見て1日1回から2回灌水する。

2 本田準備 ～田植え作業をスムーズにする勘所～

耕起・代かきは、田植えの精度や稲の生育等に大きく影響するので、
丁寧に行いましょう。

(1) 耕起

- ① **15cm**を目標に深起こしに努めましょう。
(ロータリー耕の作業速度を落とし作土深を確保しましょう。)
- ②均平作業を行う場合は耕起前に高い所から低い所に土を運び、
高低差を修正しましょう。
- ③乾いた状態でゆっくりと耕起しましょう。
(過湿の状態では耕深が浅くなり深さが不均一になります。)



(2) 代かき

- ①代かき日は土壌条件を考慮して、田植え予定日から決めましょう。
- ②代かき作業は浅水で行い、稲わらを土の中に埋め込むようにしましょう。
(田植え作業の能率と精度が上がります。)
- ③代かき後は、田植え前に濁水を流す「強制落水」は行わないようにしましょう。
(泥水や一発肥料のプラスチック被膜殻の河川流出を防ぐことができます。)
- ④代かきは練りすぎないように、特に枕地に注意しましょう。
- ⑤ほ場の高低差は4cm以内を目標に、なるべく均平にしましょう。
(活着促進、欠株の発生防止、除草剤の効果安定のため)
- ⑥前年と作付品種が異なる場合は、7日間以上の間隔をあげ浅水で2回代かきを実施することで、
漏生イネ発生軽減に繋がります。

浅水代かきのポイント

- ①ほ場の均平化
入水前にできるだけ均平にしましょう。
- ②水尻の管理
止水板は十分な高さまで積み上げましょう。
- ③適切な入水量
事前に入水し、土に水を十分浸透させ、
田面が70～80%露出したら、代かきを行いましょう。
- ④自然落水の実施
強制落水は被覆殻の流出を招くため、控えましょう。



《動画視聴できます》



田面が70～80%露出した状態

3 田植えのポイント

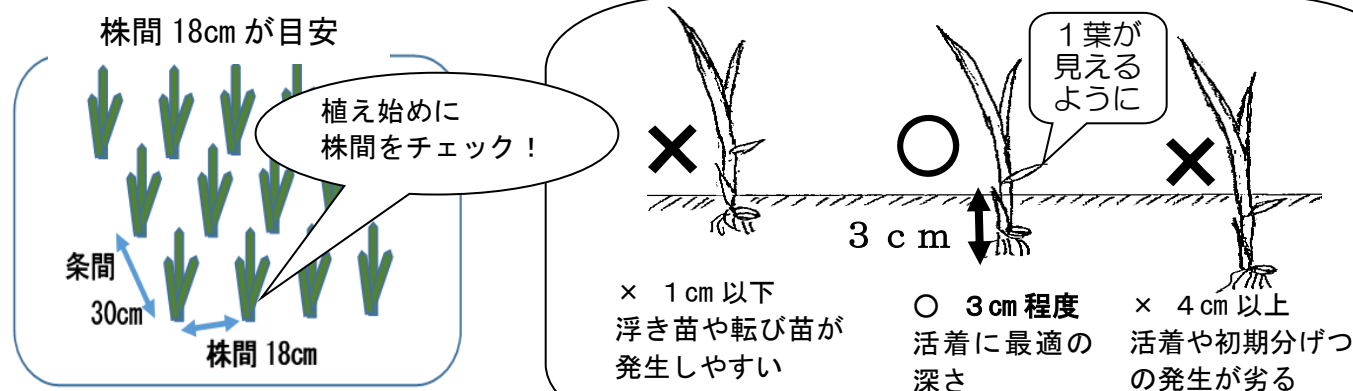
低温や強風の日の
田植えは避けましょう！

- 田植作業の前に田植機の点検を行い、爪等に異常が無いか確認！
- 苗の植付株数・掻取本数・施肥ダイヤルの目盛をよく確認！



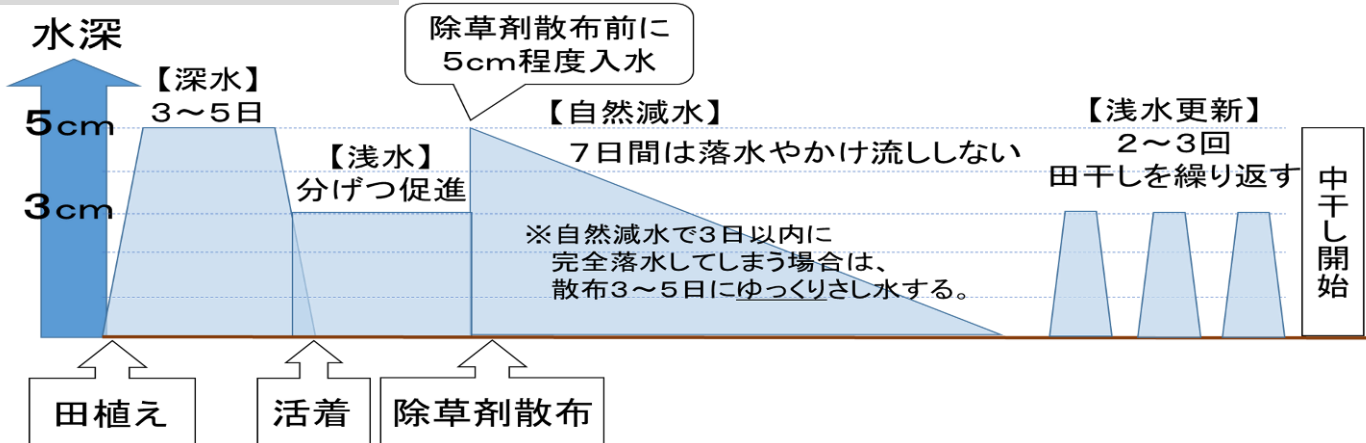
◎植付株数：60株/坪 ◎植付本数：3～4本植え ◎植付深さ：3cm程度

(つきあかり、ひやくまん穀など比較的生育量を確保しにくい品種は70株/坪での植付も可)



- 除草剤の処理については、営農の手引き P30～35 を確認！

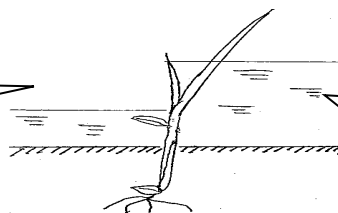
4 水管理のポイント



★ポイント★

- ①入水は、早朝又は夕方に短時間に行い、日中は水を止めて水温の上昇を図る。
- ②霜や強風が予想される場合は、深水とし、苗を保護する。
- ③活着後は、「浅水管理」で分げつ発生を促進させる。

活着後、好天日は浅水
水深：2～3cm



低温、強風予報時は深水で
苗を保護する。
水深：草丈の3/4程度
(約4～6cm)

- ④ガス湧きを軽減するため、中干しまでに2～3回田干しを繰り返し、根の張りを良くする。
※活着が悪く、生育が遅れている場合は、
活着期：新葉が伸びるまで深水管理（苗が水没しない程度）で保温管理する。
分げつ期：好天日は、日中浅水管理をし、水温・地温の上昇を図ることで分げつを促進する。

5 基肥の施用基準（10a 当たり）

～ほ場に応じた施肥で出来過ぎ無駄の解消～

○ 大豆跡の作付けでは、基肥量を20%減らす。(ゆめみづほ・ひやくまん穀を除く)

(ただし、基肥一発肥料使用の場合は、穂肥が必要となる場合があります。)

○ 前年に倒伏したほ場は、施肥量を基準よりも10a 当たり5kg 減らす。

○ 基肥一発肥料を施用しても、高温年は葉色等の状況を見て追加穂肥を施用する場合があります。

(10アール当たり)

	基肥一発肥料（側条施肥）							
	Jコート入り コシ一発くん NEO α	コシ一発くん DX24	Jコート入り けい酸アップ コシ一発くん	コシ晩植 一発くん	Jコート入り 早生一発 くんNEO	早生一発 くんDX28	Jコート入り ひやくまん穀 一発くん NEO T	五百万石 一発くん
各肥料の比重	0.86	0.84	0.91	0.90	0.80～0.85	0.85	0.80～0.85	0.82
コシヒカリ	35～40kg	40～45kg	50～60kg	—	—	—	—	—
晩植コシヒカリ	—	—	—	40kg	—	—	—	—
ゆめみづほ	—	—	—	—	40～45kg	45～50kg	—	—
ひやくまん穀	—	—	—	—	—	—	45kg	—
五百万石	—	—	—	—	—	—	—	45kg

6 いもち・初期害虫防除

(育苗センターから購入した苗については、本人希望(薬剤なし)以外はすべて処理済です。)

○ 1箱当たり50gを育苗箱の苗の上から均一に散布する。

○ 薬剤使用後に散水し、薬剤が苗箱に落ち着くようにする。

使用時期	薬 剤 名	使用量	対象病虫害名
移植3日前 ～移植当日	Dr. オリゼリディア箱粒剤	1箱当たり 50g 高密度には種する場合は 1kg/10a (1箱当たり50g～100g)	いもち病、初期害虫、ウンカ 類等
は種時(覆土前) ～移植当日	ブーンレパード箱粒剤 (紋枯病の出やすいほ場)	1箱当たり 50g 高密度には種する場合は 1kg/10a (1箱当たり50g～100g)	いもち病、紋枯病、初期害虫

※水稻育苗ハウスを活用して野菜を栽培する場合は、育苗ハウス内での散布は行わない。

JA松任より瓦版

「農業者の所得拡大」、「農業生産の拡大」に向けて頑張っていきますので、よろしくお願いします。

中央支店管内	松任地区	達本 篤史	北星支店管内	旭地区	前根 一貴
	一木地区			御手洗地区	
	中奥地区			出城地区	
	郷地区		松南支店管内	林中地区	澤田 豊
西南支店管内	宮保地区	松井 哲也	山島地区		
	笠間地区		全地区	露地園芸担当	土倉 真魚
	柏野地区	中村 瑞穂		施設園芸担当	竹田 篤史
	石川地区				

お問合せは、
●営農資材課 TEL 076-274-1471
●園芸振興課 TEL 076-274-1475
●共通 FAX 076-274-1483

